

「さんべ まるごとたいけん！」① ②

- 1 趣 旨 ・ 地域資源を活かした体験活動の場を提供することで、三瓶地域の魅力に気づく。
 ・ 交流の家周辺で活動することで家族の絆を深めることや時間を守るなどの基本的な生活習慣を確立するきっかけづくりを行う。
- 2 主 管 国立三瓶青少年交流の家
- 3 協 力 ①桃太郎農園、やましろ屋、福間牧場、島根県立三瓶自然館サヒメル
 ②こもれびの広場 木工館、そばカフェ Yumoto、地域の達人（北垣 裕氏）、多根神楽団、子ご美の里、千蓼庵、大田市山村留学センター
- 4 事業の概要
- (1) 期 日 ①平成29年 9月30日（土）～10月 1日（日）【1泊2日】
 ②平成29年10月28日（土）～10月29日（日）【1泊2日】
- (2) 参加者 ①68名（25家族） ※募集50名・申込数257名
 ②56名（19家族） ※募集50名・申込数150名

(3) ①活動日程

9/30 (土)	昼	○はじめの会・オリエンテーション・日程説明 ○選択活動① A.「桃太郎農園」に行こう！ぶどうのジャムを作り B.「やましろ屋」に行こう！ヤマメのつかみ取り C.「福間牧場」に行こう！ えさやり体験 アイス作り	
	夜	○選択活動② サヒメルに行こう！D.夜の昆虫観察 E.天体観察	
10/1 (日)	午前	○選択活動II（体験活動） 【選択活動③】三瓶山へ登山に行こう！ F.女三瓶～男三瓶コース G.室内コース H.太平山コース	

10/28 (土)	昼	○はじめの会・オリエンテーション・日程説明 ○選択活動①ものづくりに挑戦！ A. 木工作品を作ろう！場所：「こもれびの広場 木工館」 B. こけ玉を作ろう！ 場所：「湯元旅館 そばカフェ Yumoto」 C. ツルカゴを作ろう！ 場所：国立三瓶青少年交流の家	
	夜	石見神楽を体験！	
10/29 (日)	午前	○選択活動② D.味噌づくりをしよう！ 場所：「子ご美の里」 E. そば打ちをしよう！ 場所：「千蓼庵」 F. ピザづくりをしよう！ 場所：「大田市山村留学センター」	

5 事業の内容

(1) 事業の特色

昨年に引き続き、三瓶地域の方々に全面的に協力いただき、イベントを実施することができた。利用者に三瓶の魅力を存分に体験してもらえるよう、連携機関と様々なプログラムを考えた。今後、「また家族で三瓶に行ってみよう」と思ってもらえることをねらいとして実施した。

(2) プログラムデザインと企画のポイント

募集チラシに連携先担当者の写真やコメントを入れることで親近感を持ってもらえるよう工夫した。また、昨年度の当事業が好評であったことから、プログラム構成は、前回同様選択制にした。極力連携先の所在地で活動をし、現地を知ってもらいたかったため、連携先には無理を言って現地での活動を行った。

6 成果と課題

《成果》

- ・多くの連携団体が快く受入れをしていただいたおかげで、普段体験することができないプログラムを参加者に提供することができた。今後も三瓶ならではの体験を提供できるよう、工夫していきたい。
- ・多くの申し込みがあったことは、昨年から引き続き実施していることも要因であると考えられる。今後もプログラム内容は工夫して変更していくが、イベント自体は引き続き実施していきたい。

《課題》

- ・昨年は、募集人数 150 名でのイベントであったが、今回は地域の方との連携を重視し所在地での体験にこだわったため、募集人数を絞った。その結果、多くの申込者をお断りしてしまった。来年度は、より多くの参加者が参加できるよう工夫する必要があると感じる。
- ・2 回目のイベントでは、参加対象レベルを記入していなかったため、アンケートに「対象がわかればよかった」との意見が上がった。難易度を表示する必要がある。
- ・コースがたくさんあったため、担当者が分かれ、すべてを把握することが困難だった。そのため参加者に不安感を与えたように思う。より密に打ち合わせを行う必要がある。



やましろ屋でのコマ。
あとでおいしくいただきました。



全員で、登頂！
達成感を味わいました。



多根神楽団さんと記念写真。
衣装も着せてもらいました。



木工館での作品作り。お父さんと
一緒に一生懸命作りました。



手を突っ込んで、味噌づくり。
おいしくなあれ。



講師の先生に教えていただきながら、
世界に一つだけのこけ玉作り。

担当：総務・管理係 渡邊 絵里子)